

「終活」ってどうやるの？

さあ、今日から「終活」を始めましょう！と言っても、いったい何をどこからどうやって始めたらよいかさっぱり分からないというのは、当たり前のことです。

実際には、世の中に「終活」の情報はたくさん溢れています。老人ホームのチラシ、お墓のテレビCM、葬儀社の生前予約の広告、銀行に行けば遺言作成を勧められ、不動産屋からは相続税対策にとアパート建設を持ち掛けられる。

もちろん、どれも「終活」のひとつです。でも、それぞれの個別の「終活」に飛びついて、一番大切な視点が抜け落ちたままに実際にその時を迎えると、せっかくの「終活」がまったく上手く機能しないリスクがあるのです。

「終活」における一番大切な視点というのは、いったい何でしょう？

ズバリ、それは「取りまとめ役」です。

認知症に備えた認知症保険や、ガンに備えたガン保険に入っていたとしても、自分自身で保険金請求の手続きが出来るような状況でなかったとしたら、誰がこの保険加入のことを知っていて、誰が請求手続きをしてくれるのでしょうか。

いくら葬儀社と葬儀の生前予約をしても、病院で亡くなったことをその葬儀社はどうやって知りますか？永代供養のお墓を購入していたとしても、お骨は歩けないので、どうやって焼骨を用意したお墓に納骨しますか？また、信託銀行に遺言を預けているとしても、銀行はどうやって死亡の事実を知るのでしょうか。

つまり、自分自身の意思で準備してきた個別の「終活」を、すべて総合的に把握し、その上で緊急事態、異常事態、死亡の事実などをいち早く知ることが出来る立場となり、さらに亡くなった後のことまで執り行うことが出来る権限を事前に与えられている役割の人が必要なのです。

自分の子ども以外に、そんな重大で責任の重い役割を引き受けてくれる人はいるのでしょうか？心配になりますね。

株式会社 OAG ライフサポートは、法人として、この役割を全力でお引受けします。

「おひとりさまの終活」のキモは、「誰に託すのか」ということです。

つづく